

ERP・業務アプリケーションにおける SaaSの利用意向に関する法人アンケート調査結果 2012

～次回システム導入時に SaaS を利用したい比率は、会計・人事で6%台に留まる～

【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の調査要綱にて、ERP・業務アプリケーションにおける SaaS の利用意向について国内の民間企業等に対し、アンケート調査を実施した。

1. 調査期間:2012年7月～2012年10月
2. 調査対象:国内の民間企業、団体、公的機関などの法人
3. 調査方法:電話によるアンケート調査に FAX、郵送アンケートを併用

【調査結果サマリー】

◆ 現在の SaaS 利用率は、会計・人事領域で約 3%、CRM・SFA では 9%

現在、ERP・業務アプリケーションで SaaS を利用している比率は、財務・会計システムで 2.9%、人事・給与システムで 3.0%、販売管理システムで 2.1%、CRM・SFA で 9.0%となった。CRM・SFA は、現在の SaaS 利用率が 9.0%と他分野を上回ったが、他はいずれも低い水準となった。

◆ CRM・SFA は次回システム導入時の SaaS 利用意向が高く、22.5%に達する

次回システムを更新及び導入する際に、SaaS を利用する意向をみると、財務・会計システムで 6.6%、人事・給与システムで 6.4%、販売管理システムで 7.0%、CRM・SFA 22.5%となった。いずれの分野においても、現在の SaaS 利用率を上回っており、今後は SaaS の利用企業は増加すると見込まれる。

但し、財務・会計や人事・給与では利用意向が 6%台に留まっているため、短期的に急拡大することではなく、当面は従来のサーバ設置型のシステム導入が主流となる見通しである。

一方、CRM・SFA は、次回システム導入時に SaaS を利用したいという回答は 22.5%に達しており、今後、SaaS が積極的に導入され、利用率はいっそう高まると予測する。

これは、SaaS 型 CRM・SFA の外資系大手ベンダーの成功によって、この分野ではいち早く SaaS の利用が定着したことが最大の理由であるが、CRM・SFA は部門導入や試験的な導入など、小規模に利用をスタートしたいと考える企業も多く、初期コストをかけず手軽に利用を開始できる SaaS がニーズにマッチしていることも、普及を後押しすると考える。

◆ 資料体裁

資料名:「ERP/業務ソフトウェアの導入実態—会計、人事、販売、SCM、CRM—」
発刊日:2012年12月21日
体裁:A4判 225頁
定価:157,500円(本体価格150,000円 消費税等7,500円)

◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地:東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長:水越 孝
設立:1958年3月 年間レポート発刊:約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先(当社 HP から承っております <http://www.yano.co.jp/>)
㈱矢野経済研究所 営業本部 広報チーム TEL:03-5371-6912 E-mail: press@yano.co.jp

本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。
本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報チーム迄お問合せ下さい。

【 調査結果の概要 】

1. 現在の SaaS の利用率について

今回の調査では、財務・会計、人事・給与、販売管理、CRM・SFA の各業務アプリケーションについて、現在導入しているシステムで SaaS を利用しているか、を聞いた。

現在 SaaS を利用している比率を分野別にみると、財務・会計が 2.9%、人事・給与で 3.0%、販売管理で 2.1%、CRM・SFA で 9.0%となった。(図表 1 参照) CRM・SFA は、現在の SaaS 利用率が 9.0%と他分野を上回ったが、他はいずれも低い水準となった。

2. 次回システム更新時の SaaS 利用意向について

また、次回システムを更新及び導入する際に SaaS を利用する意向をみると、財務・会計 6.6%、人事・給与 6.4%、販売管理 7.0%、CRM・SFA 22.5%であった。(図表 1 参照) 今後の利用意向は、いずれの分野においても現在の SaaS 利用率を上回っており、今後は SaaS の利用企業は増加すると見込まれる。クラウドの利用に対する関心も高まっており、SaaS で利用できる業務アプリケーションや ERP パッケージの種類も増えていることも、SaaS の利用率向上につながると考える。

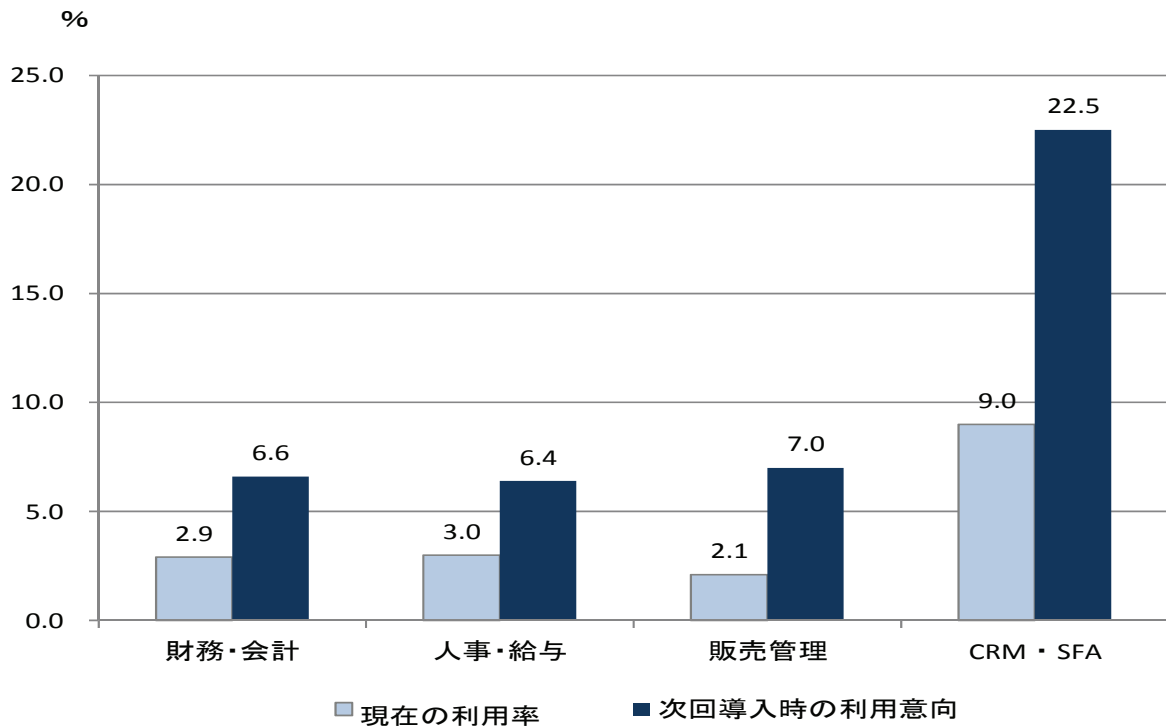
ただし、財務・会計や人事・給与では利用意向がある比率が 6%台と、まだ低いレベルにあり、短期間で大幅に拡大するとは考えられない。SaaS の利用率の増加は緩やかに進み、当面は従来のサーバ設置型のシステム導入が主流となる見通しである。

CRM・SFA では、次回システム導入時に SaaS を利用したいという回答は 22.5%に達しており、業務アプリケーションの各分野の中で SaaS の利用意向がもっとも高い。CRM・SFA については、SaaS が積極的に導入され、利用率はいつそう高まると予測する。

これは、SaaS 型 CRM・SFA の大手ベンダーSalesforce.com が日本市場で成功を収め、それに続く他のベンダーもこぞって SaaS 型のサービスの提供を始めたことによって、この分野ではシステム導入時に SaaS を選択することが一般的になっており、いち早く SaaS の利用が定着している結果である。

また、CRM・SFA は、特定部門での少人数での利用や試験導入など、スモールスタートでの導入を希望する企業が多く、初期コストをかけず手軽に利用を開始できる SaaS がそのニーズにマッチしていることも、SaaS の導入を後押しすると考える。

図表 1. SaaS の利用率と今後の利用意向



(単位: %、社数)

	財務・会計	人事・給与	販売管理	CRM・SFA
現在のSaaS利用率(%)	2.9%	3.0%	2.1%	9.0%
システム導入企業数	543	526	429	111
次回更新及び導入時 SaaS利用意向(%)	6.6%	6.4%	7.0%	22.5%
システム更新及び 導入予定のある企業数	211	171	171	71

矢野経済研究所作成

注 1. 調査期間:2012年7月~10月、集計対象:国内の民間企業、団体、公的機関などで、現在各分野のシステムを導入している企業と、次回更新及び導入予定のある企業(社数は上記表内に記載)、該当するシステム分野それぞれに各社が回答している、調査方法:電話によるアンケート調査にFAX、郵送アンケートを併用